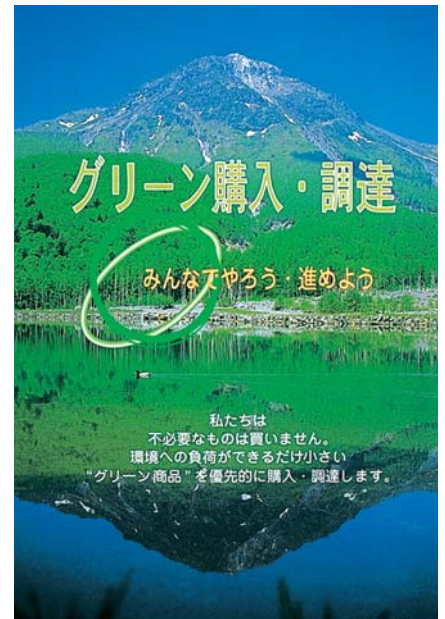


富士フィルムグループでは、2000年2月、グリーン購入・調達の活動開始を宣言しました。資材及び一般購買品の購入先、購入する品目の選択も環境保全に向けた重要な課題です。購入・調達という事業会社にとっての経済的な活動の中においても、それともなう環境的な側面への配慮が必要であるとの考えのもと、積極的にグリーン購入・調達を推進しています。

グリーン購入・調達については、富士フィルム レスポンシブル・ケア委員会の特定課題推進委員会として、「グリーン調達推進委員会」、「グリーン購入推進委員会」がその活動にあたっています。

「グリーン調達推進委員会」では、2000年度は主要な原材料・部品の購買先に対してアンケート調査を実施、情報の収集と分析を行いました。アンケート調査を行った購買先は、部材(化学原材料を含む)について購入総額の70%を占める調達先、包材について購入総額80%を占める調達先です。そのうち、環境保全関連の法規制の順守や原材料に特定の化学物質を使っていないなど14項目の基準をクリアした購買先の割合、グリーン調達率は、2000年度末で66%でした。グリーン調達推進委員会では、部材(化学原材料含む)及び包材を対象に、2003年度末までにグリーン調達率を100%にすることを目標に、活動を推進しています。

「グリーン購入推進委員会」では、管理情報をデータベース化し、国内7事業所(富士フィルム本社、4工場及び2研究所)でグリーン購入率を算出しました。2000年度末のグリーン購入率は52%です。2003年度末までにグリーン購入率を100%にすることを目標に、活動を推進しています。グリーン購入率の算出対象品目以外の物品についても、積極的に購入を促しています。今後はグリーン購入の実施を、国内の営業所や国内関係会社にも拡大していく計画です。



富士フィルムグループのグリーン購入・調達の手引書

## グリーン調達率

アンケート調査の結果、グリーン調達推進委員会で決定した一定の基準をクリアした調達先の割合。

アンケート実施対象：富士フィルム本体、富士機器工業(株)、富士写真光機(株)

## グリーン購入率

対象品目の総購入額におけるグリーン商品購入金額の割合。

対象品目：OA用紙・印刷用紙、コピー機・プリンター・ファクシミリ、パソコン、文具・事務用品、一般生活用品

## グリーン購入・調達とは？

